



社会教育の振興に尽力

社会教育委員として、長年にわたる地域の社会教育および生涯学習の振興と発展にご尽力された功績が認められ、服部真由美さんが愛知県社会教育委員連絡協議会から表彰を受けました。



▲鈴木町長、青木さん、渥美副学校長

尾北看護専門学校で役立ててほしいと、地域団体活動支援寄附として大口町へふるさと寄附をいただきました。尾北看護専門学校が寄附を基に成績優秀な学生の授業料などを全額支援する制度を設け、大口町在住の青木りなさんが奨学生として選ばれ、町長を表敬訪問しました。渥美副学校長から目録を受け取った青木さんは「とてもありがたいです。患者さんに寄り添える看護師になりたいです」と話しました。

ふるさと寄附を活用させていただきました

6/21 水



南地域福祉セミナー 見守り支え合い勉強会

団塊世代が75歳以上になり、超高齢化社会となる「2025年問題」を目前に控え、大口町南地域自治組織（秋田・豊田・大屋敷）が、地域の見守り支え合いについて考える勉強会を開き、同組織・健康推進委員・民生委員など約60名が参加しました。まず最初に「地域で見守りが必要なの？」「南地域で何が出来る？！？」と題し、長寿ふくし課の近藤祐子さんからお話を聞き、大口町の高齢化率の現状と、地域での見守りの必要性について学びました。

また、後半では、地域で見守り支え合う地域づくりを進めるために「ながら見守りってどんなこと？」と題し、グループに分かれ意見交換。「個人でのパトロールは不審者に間違われやすいため、見守りをしているワッペンなどを作ったらどうか」「心配な方を見つけた場合の連絡先は？」「高齢者だけでなく、子どもたちの見守りなども兼ねたら防犯にもつながる」など、さまざまなアイデアが出されました。

これらのアイデアは、南地域自治組織福祉部会で整理・検討され、地域の皆さんに報告されます。

6/24 土